

「福島県農業振興審議会」を開催

農林企画グループ

県は、12月16日、県庁本庁舎「正庁」において、「福島県農業振興審議会」を開催しました。

今回の審議会は、8月の委員改選以降初めての開催であったことから、まず会長・副会長の選任が行われ、会長には、守友裕一福島大学経済学部教授、副会長には佐川栄蔵福島県農業会議副会長が就任しました。

引き続き、「うつくしま農業・農村振興プラン21」の進捗状況について、平成14年度における農業・農村の動向、特徴的な動き、農業・農村の振興に関して講じた施策等を県から報告しました。

委員からは、「県産ブランドの確立に向けて、生産振興対策だけでなく、流通、販売等の対策もPRしながら、総合的に進める必要がある」、「プランの進捗状況については、農村の生活の視点を加えるべき」等、様々な意見が出され、活発な議論がなされました。

また、平成15年度における農業・農村に関する大きな動きということで、「農作物の異常気象災害」、「水田農業改革の推進」、「BSEの発生」について、それぞれ県から報告しました。

午後からは、県営かんがい排水事業で整備された安達町の「山ノ入ダム」と循環型農業を実践している大玉村の「國分農場（有）」を視察しました。

山ノ入ダムの管理方法や、國分農場での家畜排せつ物と食品残さを利用した堆肥の生産や販売状況等について次々と質問が出され、大変有意義な現地視察となりました。



〔審議会の様子〕



〔山ノ入ダムの視察〕



〔國分農場（有）の視察〕